



支える人、  
寄り添う人

# 藤本 純次

Junji Fujimoto

看護部 手術室



## 寄り添う看護

私は、当院で手術看護認定看護師として働いています。手術看護認定看護師の役割は、「手術を受ける患者さんや家族に対し、手術による侵襲の軽減と合併症予防、回復促進を目指し、科学的根拠に基づいた看護技術と知識を用いて質の高い看護実践を行う」ことです。

私が手術看護認定看護師を目指すきっかけとなったのは、「手術室看護師として根拠に基づいた質の高い看護の提供を行い、合併症予防や不安の軽減を行いたい」という思いからです。患者さんにとって手術は未知の領域であり、人生を左右するイベントです。私が日々の業務で心掛けていることは、看護師として手術決定から手術当日、術後まで患者さんに合った看護が提供できるようにと考え行動しています。患者さんは手術室に入室する際、手術に対して未来への希望を抱いていた、「本当に治るのだろうか」という不安で涙を流され

ていたりなど様々です。少しでも安心して手術が受けられる様に患者さんの思いをくみ取り声かけや環境調整を行い、精神的な関わりも行っています。手術室の環境は閉鎖空間という事もあり、患者さんや家族が知り得ない情報が多くあります。安心して手術が受けられる様な環境作りや、安全な手術の提供ができる様にチームで支援していききたいと思っています。また、多職種が関わる中で患者さんや家族の思いが尊重され、各職種が専門性を最大限に発揮できる様に関わっていききたいと思っています。

近年、医療技術の発展により手術も複雑で高度化しているのが現状であり、それに伴い手術看護の質の向上も重要視されています。現状、認定看護師としての加算はありませんが、認定看護師として質の高い看護が提供できるように、より一層努力していききたいと思っています。